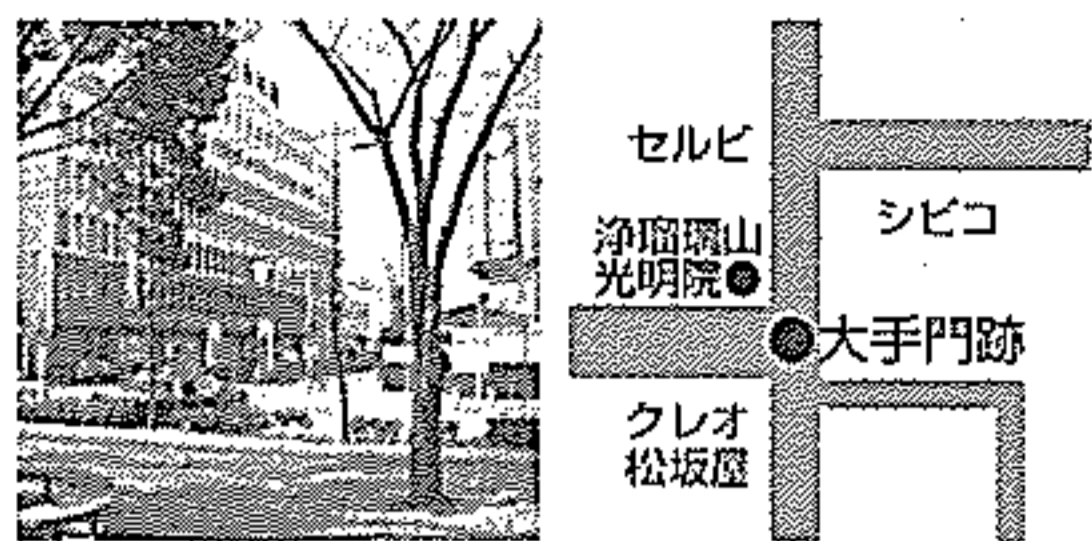


# 康生いったい

## 大手門跡

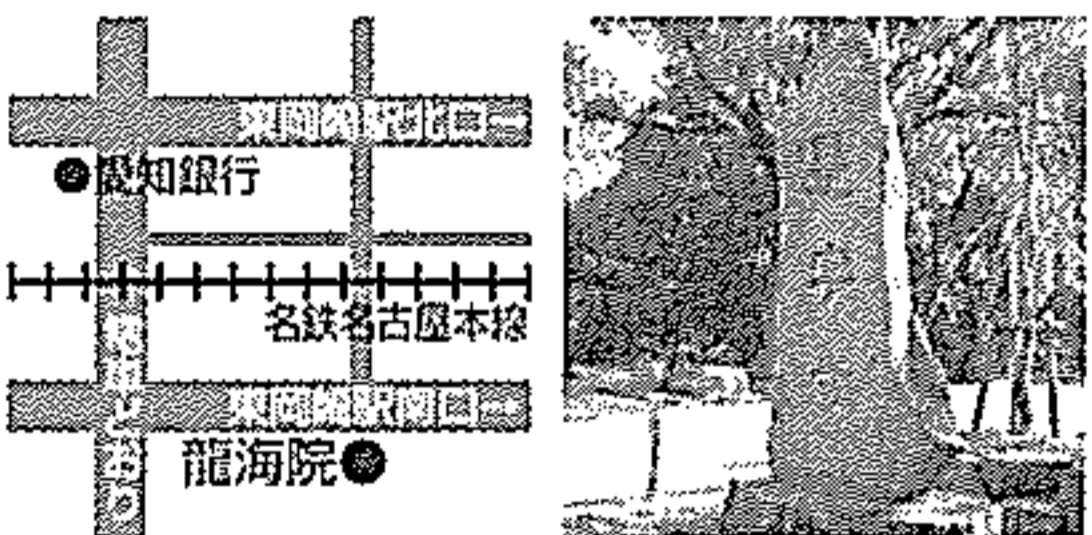


岡崎城の表玄関の大手門はセルビとクレオ・松坂屋の間、康生地下駐車場の入口あたりにありました。間口10間(18m)、奥行2間4尺(4.8m)の堂々とした門でした。ここから先は内堀の内。藩政をつかさどる重要な場所であると同時に、城主の居館や重臣たちの屋敷が建ち並ぶ地域でした。国道1号線沿いの岡崎公園入口にある大手門は、実はここにあったのです。

■岡崎市康生通西

# 東岡崎駅周辺

## 龍海院 (りゅうかいいん)

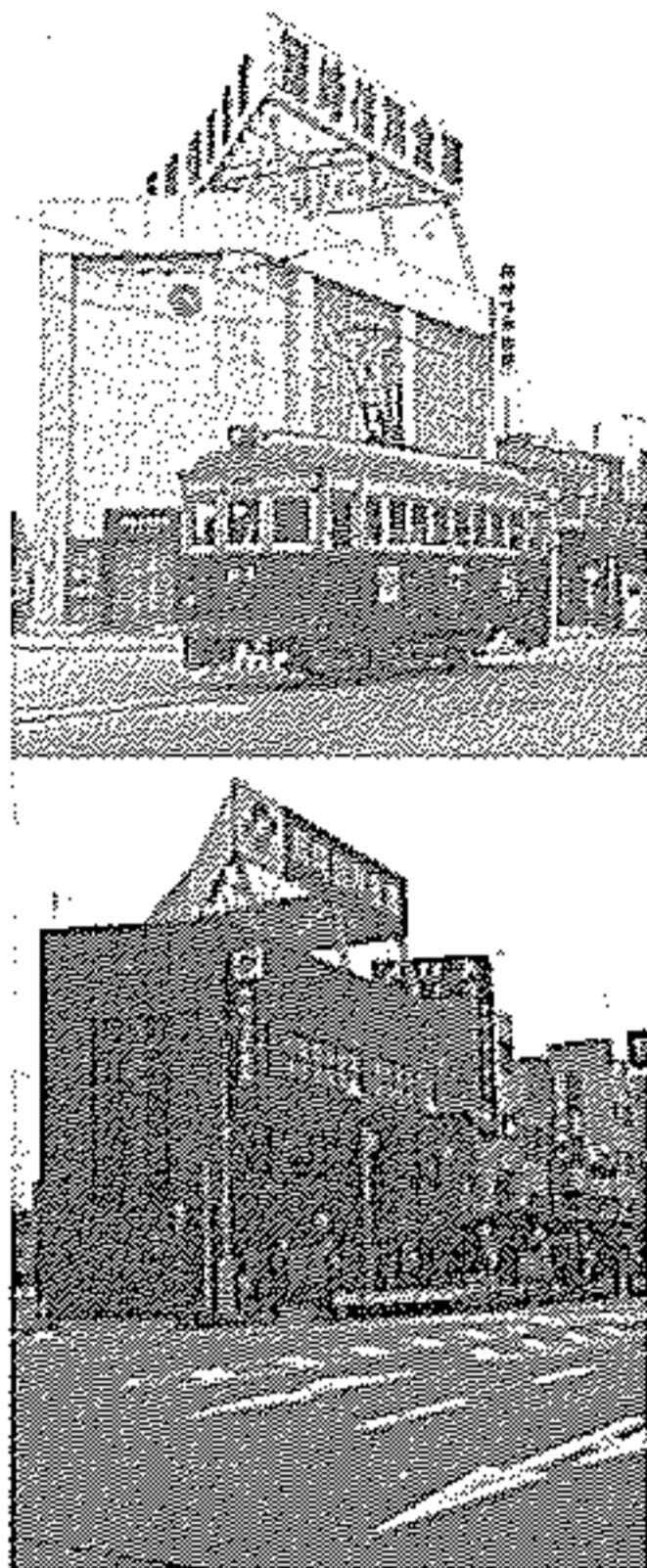


是字寺とも呼ばれます。1530年(享禄3年)元旦、松平清康は左の手に「是」の字を握る夢を見、龍溪院(桑原町)の模外和尚に意味をたずねると、「是の字は日・下・人の3字からでき天下人のこと。3代の内に天下を取る」と謎解き、家康公の生誕を予言しました。喜んだ清康が模外和尚のため創建したのが龍海院です。本堂は珍しく、岡崎城に向かい合い北向きになっています。

■岡崎市明大寺町西郷中34

# 本町通と岡崎市電

## 岡崎市内線の停留場



- 大樹寺
- 岡崎井田
- 伊賀町
- 八幡社
- 神明社
- 能見町
- 本町
- 康生町
- 岡崎殿橋
- 東岡崎駅前
- 大学下
- 芦池橋
- 車庫前
- 戸崎町
- 戸崎口
- 北羽根
- 岡崎駅前
- 柱町
- 東若松
- 西若松
- 福岡町

写真上は1962年(昭和37年)2月に撮影された本町通三丁目の岡崎信用金庫本町支店の前に行く市電です。写真下が現在の風景。あまり変わっていませんね。広い本町通は当時、時代の最先端を行く道でした。空襲で全壊した市街地の復興で能見町まで道路拡幅されましたが、市電の軌道は、康生町から北は最後まで単線のままでした。

### ■発行

電車どおり4商店街

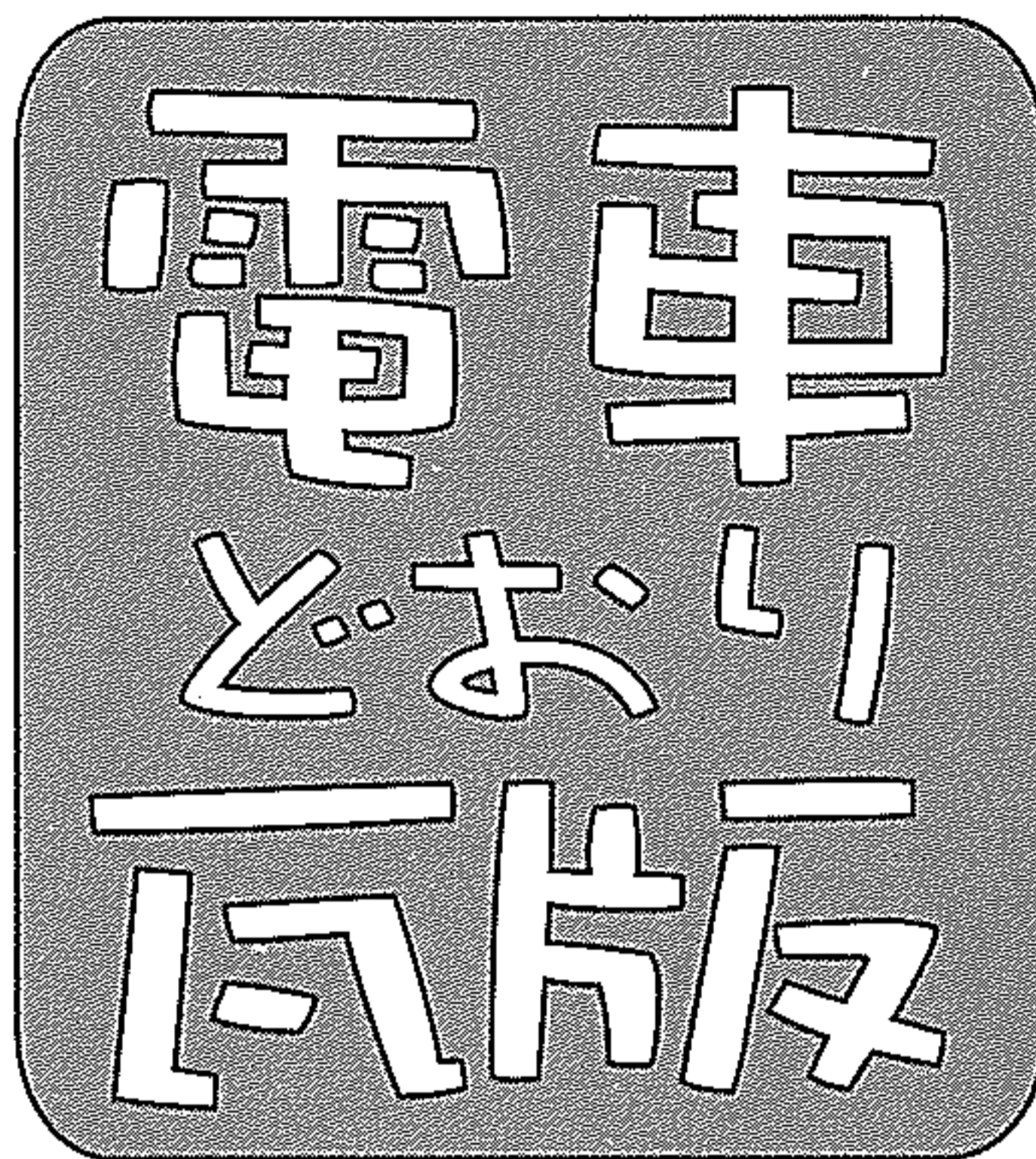
- 本町通三丁目商店街振興組合
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合

### ■協力

岡崎商工会議所  
岡崎市観光協会

### ■編集協力

三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」  
岡崎江戸仲間



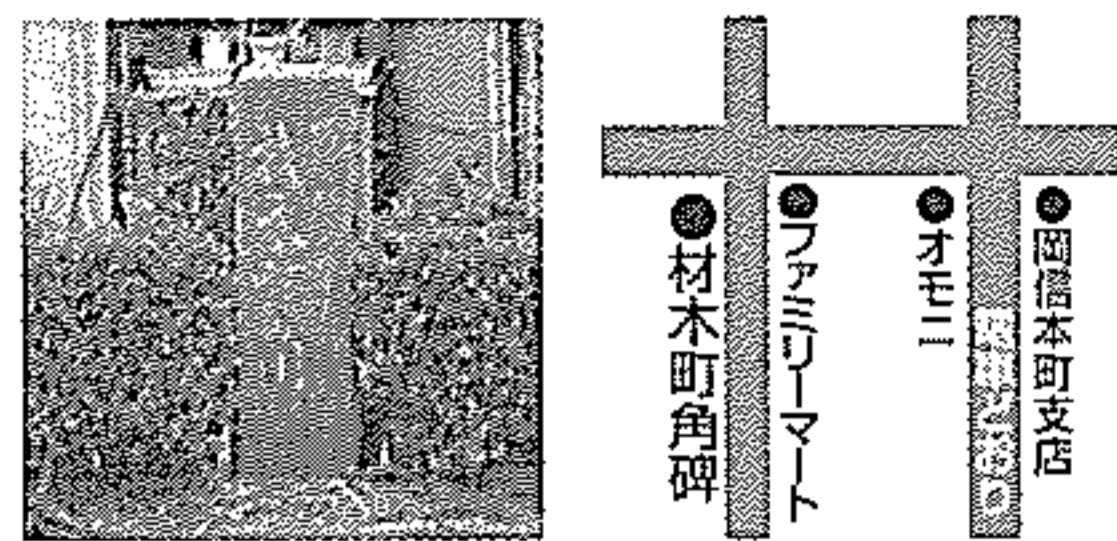
2005年(平成17年)10・11月号(第2号)

電車どおりの住民が  
ご近所のネットワークを活かし  
ます歩きを楽しくする  
オススメのポイントをご紹介します。



# 本町がいわい

## 岡崎城下二十七曲・材木町角碑

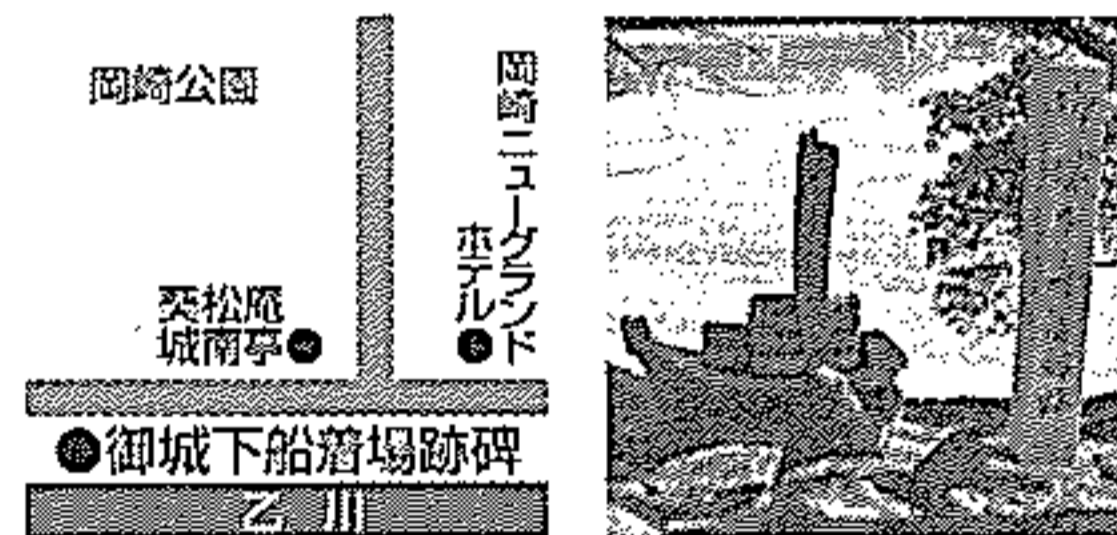


東海道は岡崎城下では、攻め込んだ敵を反撃するため、いくえにも折れ曲がり、東海道五十三次の中で一番長い町並みとなっていました。岡崎城下二十七曲と呼ばれ、東から籠田総門で外堀をこえ岡崎城内に入り、外堀に沿って西に進みました。平和な江戸時代には、長い町並みは、多くの商店が軒を連ねることが可能なことから、岡崎城下の繁栄の基盤となりました。

■岡崎市材木町2丁目

# 殿橋のたもと

## 御城下船着場跡碑



「五万石でも岡崎様は、お城下まで舟が着く」と歌われるように、江戸時代の物資の輸送は舟が中心でした。乙川には土場と呼ばれた川の港があり、碑の建つ場所に「御用土場」、明代橋の西の唐沢町に「桜の馬場土場」、東の菅生町に「満性寺土場」がありました。舟は全長20mほどの平底の帆掛け船で、矢作川の河口から3日をかけ、荷物を運んできました。

■岡崎公園南の乙川堤防